

SVブロック

谷積大型ブロック

SVブロック



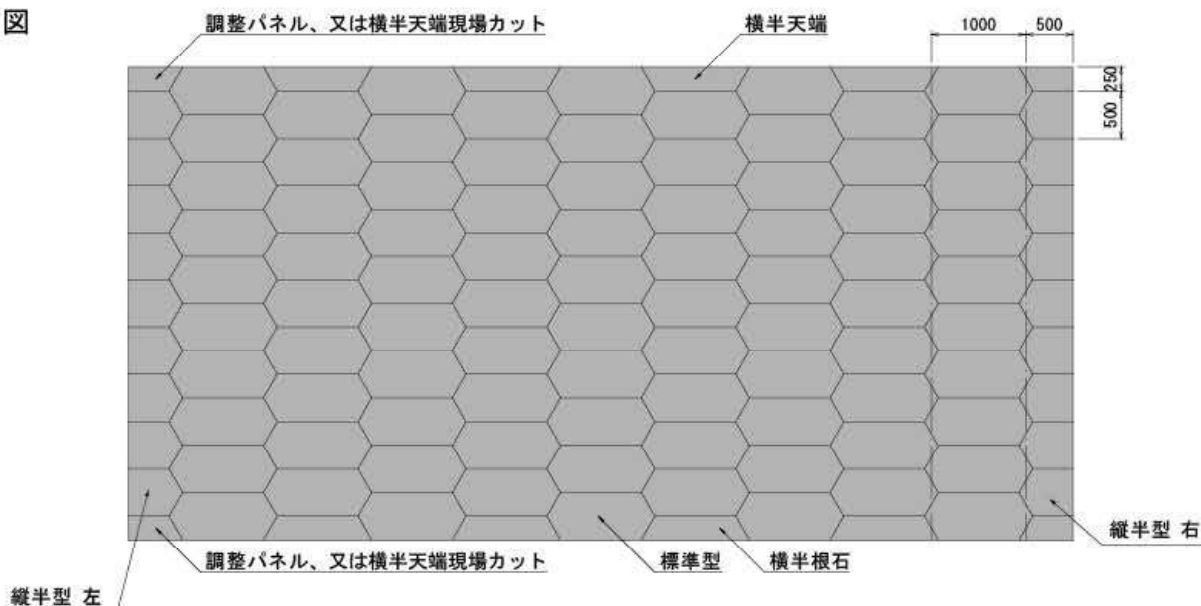
SVブロックの特長

- 積ブロックの控長を35cmのまま大型化したブロック積擁壁で水平方向の目地が直線とならない谷積等で積み上げる形式です。
- 従来の積(間知)ブロックと同等以上の壁体重量と強度を有しています。
- 本体と同じ模様の「調整パネル」があるので、天端や延長調整の現場打による調整部分の景観性に優れています。
- 水抜きは六角形角にノックアウト形式で設置可能です。
- 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」護岸ブロック留意点※1の表面模様目地を無くし、構造目地のみとすることで景観と調和するパターンとしました。

※1 護岸ブロック留意事項

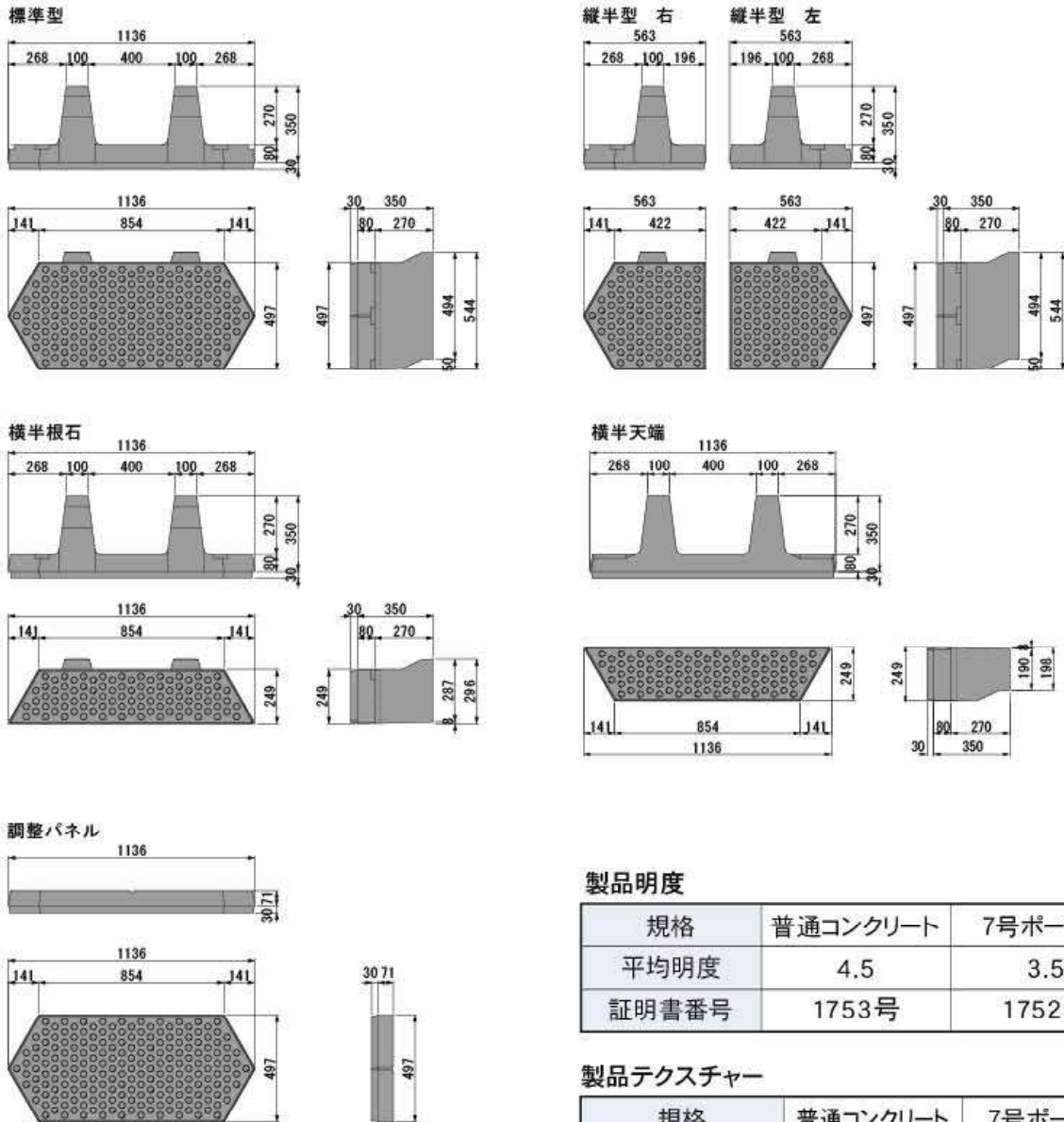
項目	判定	備考
明度	○	3.5程度(6.0以下)
彩度	○	無彩色
テクスチャー	○	53程度(11以上)
パターン	○	素材の大きさ50cm~100cm

配列図



※縦半型は、正面から見て標準型の左側に配置するものを「左」、右側に配置するものを「右」と呼びます。

単体図



製品明度

規格	普通コンクリート	7号ポーラス
平均明度	4.5	3.5
証明書番号	1753号	1752号

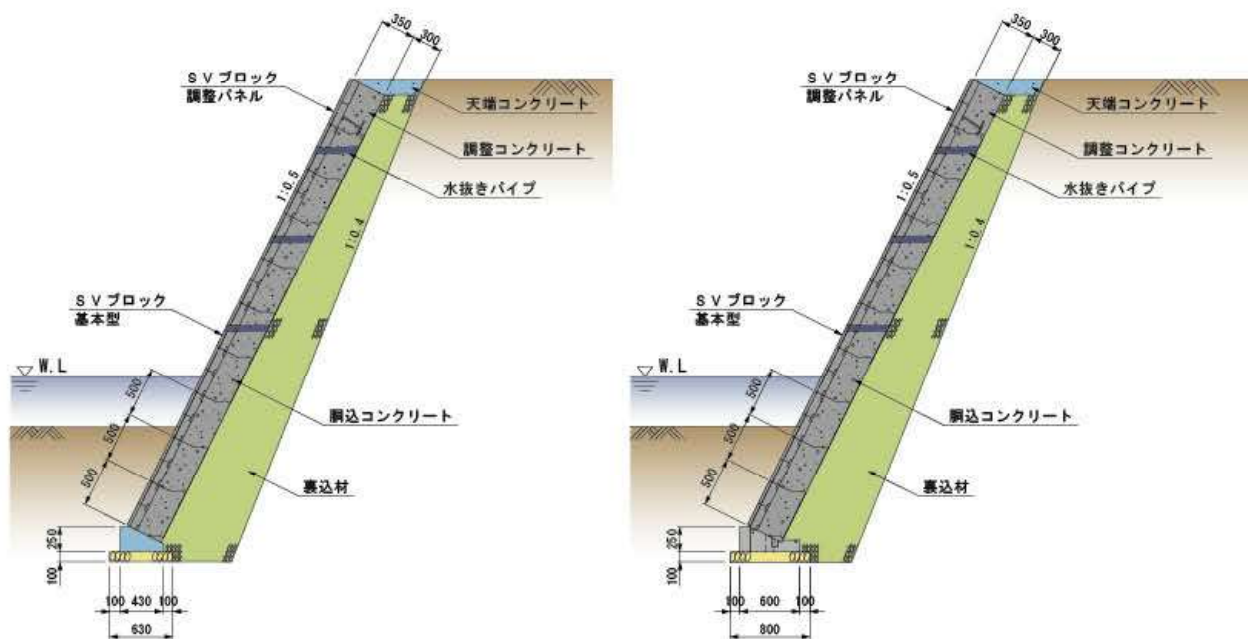
製品テクスチャー

規格	普通コンクリート	7号ポーラス
輝度の標準偏差	43	53
証明書番号	0460号	0459号

呼び名	参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法 (mm)	胴込コンクリート量 (m ³ /m ²)	使用個数 (個/m ²)
標準型	普通コンクリート	193	497×1136/854×350(+30)	0.202	2.0
	7号ポーラス	176			
縦半型	普通コンクリート	97	497×563/442×350(+30)	-	4.0
	7号ポーラス	88			
横半型根石	普通コンクリート	99	249×854/1136×350(+30)	-	4.0
	7号ポーラス	90			
横半型天端	普通コンクリート	92	249×1136/854×350(+30)	-	4.0
	7号ポーラス	84			
調整パネル	普通コンクリート	108	497×1136/854×71(+30)	0.28	2.0
	7号ポーラス	98			

SVブロック

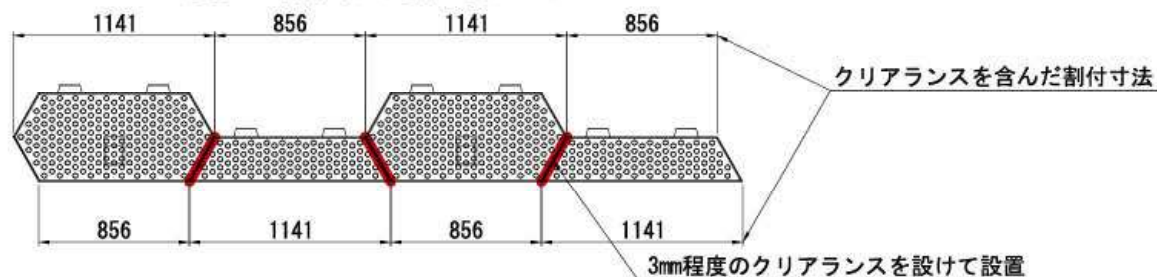
標準断面図



施工要領

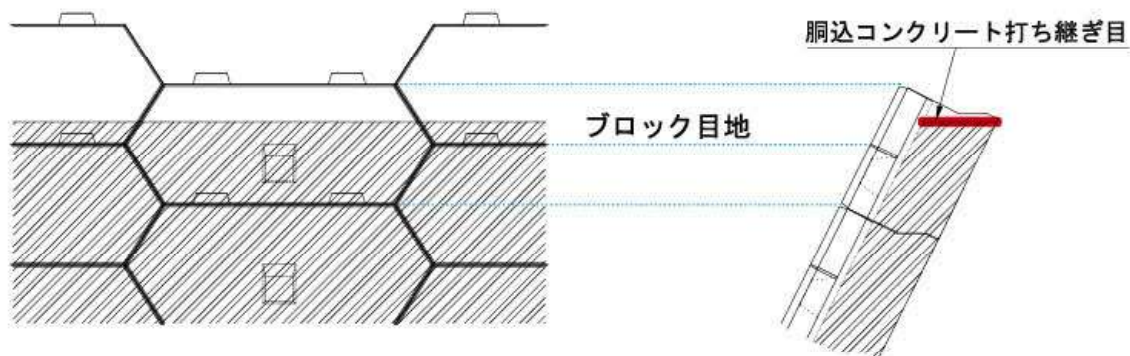
【ブロック据付】

クリアランスを考慮した割付寸法で据え付けてください。



【胴込コンクリート打設】

ブロックの横目地と胴込コンクリートの打ち継ぎ目が揃わないように打設してください。



施工例



紹介

河川

暗渠・防火水槽

道路

擁壁

水路

その他